

## アソカ講話 030

### テーマ「掃除することが心を美しくする」

先日、県老人福祉施設大会において掃除道で高名な鍵山秀三郎氏の講演を聞く機会を得た。40年以上の掃除の道を通して会得した生き方・考え方に心を打たれた。人はその生き方こそ、人に伝わるものであることを改めて痛感した。鍵山氏は無学な自分が人に伝えるには実践しなかったと語られたが、実践でしか本当の意味で人には伝えられないものだと思う。

出典不明ではあるが有名な言葉「君看よ、双眼の色、語らざれば憂いなし」の言葉を紹介して、語らないから悲しみがなにのではない、悲しみを語らないから眼の色が深くなる、悲しみを通して人は、人の憂い、人の悲しみを分かる人になれると話をされたが、氏の人生はまさにその実践であったように思う。

また、藤沢秀平氏の言葉「飯の糧にならないことが心の糧になる」を紹介されたが、氏の人生は、その信念に貫かれた人生である。飯の糧にはならない、掃除を通して周囲をきれいにし、心をきれいにする活動は、今、社会を大きく変えようとしている。その一歩は、まず、自分の働く職場を美しくすること。美しくなった職場には美しい心が育つ。心作りは、環境作りから、そう教えられた。